

## 使い方

ハンドルアラーム部より下を持って、音が鳴らないよう力を抜いてみてください。



- ペングリップがおすすめです。
- 歯ブラシの毛先が開かない程度の軽い力で、小刻みに動かしましょう。

## 注意点

アラーム部やアラーム部より先を持たない。



カチッと音が鳴り、歯ブラシがしなった状態のままでみがかない。



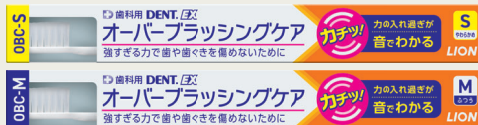
## しなるハンドルが力を調整

みがく力が強すぎる人も、力の入れすぎが音で分かり、適切なブラッシング圧に導きます。



## 超薄型ヘッドが奥まで届く

先端厚2.6mmの超薄型ヘッドで、最後白歯部まで無理なく楽に毛先が届きます。



ライオン歯科材料株式会社



患者様用リーフレット

歯科用

強すぎる力で歯や歯ぐきを傷めないために

DENT.<sup>EX</sup>  
オーバーブラッシングケア

カチッ!



詳細はこちら

LION

# オーバースラッシングって何？

きちんと歯をみがいているつもりでも、じつは、歯や歯ぐきを傷つけたり、歯垢が効果的に落ちていない場合があります。原因は「オーバースラッシング」、みがくときの力の入れすぎかもしれません。

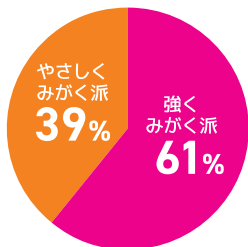
汚れをいちばん落とせるのは毛先なんです



## 「汚れを落とそう」と強い力でみがいていませんか？

20代から60代の男女1000人に聞いたところ、約6割の人が歯みがきは「強くみがく派」。でも、ブラッシングの適切な力加減を「知っている」と答えた人はわずか10%。つまり「汚れを落とそうと強い力でみがいており、適切な力加減は知らない」という人が、意外と多いのです。

汚れや歯垢を落とすために、強くみがくことを意識する人の割合

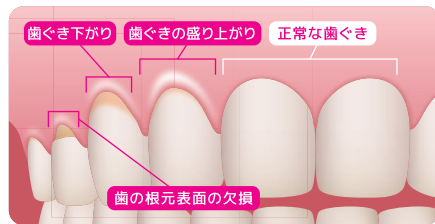


※n=1030、2019年3月 ライオン調べ

## 強すぎる力でみがくのは逆効果

歯ブラシを当てるときの力加減は、歯みがきの大切なポイント。力を入れすぎると

- 歯や歯ぐきに悪影響をおよぼす
  - 歯垢や汚れを効果的に落とせない
- などの不具合が生じる可能性があります。また、習慣的にオーバースラッシングを繰り返すと
- 歯ぐき下がり（歯肉退縮）
  - 歯ぐきが輪状に盛り上がる
  - 歯の根元表面の一部が欠損する
- などのトラブルが生じることも・・・。



## 適切な力加減をマスターしましょう

歯や歯ぐきを健康に保ち、効果的に歯垢や汚れを落としたいなら、強すぎない「適切な力加減」で。そのために

- 歯ブラシはギュッと握らず、軽く持つ
- 毛先が開かない程度の軽い力で小刻みに動かすのが基本。

DENT,EX オーバースラッシングケアで、適切な力加減をマスターしてください。

カチツ!

